

夕張市議会だより

2020年2月1日

第46号

夕張市議会だより編集委員会

ごあいさつ

夕張市議会議長 小林 尚文



夕張市議会を代表いたしまして、市民の皆様にしより新春のお慶びを申し上げますとともに平素より市民の皆様には、市議会に対しまして特段のご支援とご協力をいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

さて、昨年は、統一地方選挙の年であり、夕張市においては、市長及び市議会議員選挙が行われました。

私達、市議会においても前期から議員定数が1名減による選挙戦とな

り、8名の議員が心新たに二元代表制の一翼を担うことになり、平成から令和の年を迎え、本市の抱える諸課題の解決に向け努力する所存であります。

昨年の令和元年は、本市の舵取り役であります市長に前期の市議会議長として重責を担っていただきました厚谷 司さんが、その任にあたることとなりました。

行政と議会それぞれ役割は違いますが、市民の皆様のため、諸課題への取り組みは同じであり、厚谷市長のご活躍を心よりご期待するものであります。

一方、昨年は多くの各関係機関、団体におきましても新たに代表が選任されましたが、今後も市議会に対し引き続き、ご支援、ご協力をお願いするとともに、情報共有を

図っていく必要性を強く感じております。

さて、昨年5月には、明るい話題として本市の基幹作物であります、夕張メロンが札幌中央卸売市場の初セリにおいて、2玉500万円の値が付き、過去最高価格を更新し、一年を通し、評価の高い出荷がなされ、夕張にとっても心強いものとなりました。

また、12月には清水沢地区に拠点複合施設「りすた」が完成し、今年3月の供用開始に向け、準備が進められております。

本施設は、多世代の市民の皆様が集い、交流、活動が出来る居場所が必要であるとの要望が以前から多く寄せられたものであり、市民の皆様の知恵をいただき、有効活用していただけるものと考えております。

ご意見・ご感想をお寄せください

本町4丁目役所内
夕張市議会事務局
電話 52-3172
又は 52-3131
までお願いします。

■ 編集委員 ■
委員長 員員員
副委員長 委委委
哉子 夫二人 勝子
和桂 孝修 靖 澄
川谷 島山 田葉 間
今熊 君大本 千高

市民の皆様からいただいたご意見を反映し、議会だよりの見やすさを重視して文字の大きさや構成を今回見直しました。今後も議会報告のあり方を検討しながら、より伝わりやすい議会だよりを目指してまいります。

市議会においても、J
R夕張支線廃線以降の交
通結節点であり、ここを
拠点に人の流れを作り上
げ、新たなコミュニティ
を創出し、充実した活用
に協議、議論を進めてい
かなければならないと考
えております。

一方、対応が待たれて
おりました夕張石炭博物
館模範坑道火災につきま
しては、安全を確保しつ
つ排水作業を行う決定が
なされましたが、今後は
状況に応じた判断が必要
になってくるものと思っ
ております。

本市は財政の再生に取
り組んでから14年が過ぎ
ようとしておりますが、
財政の再生と新たな夕張
の創出は、市民の皆様の
大きな理解と協力をなく
しては成り立ちません。

限られた歳入であるこ
とから、更なる財源を見
出す努力も必要であり、

将来の人口減少、超高
齢化を見据えて取り組ん
でいかなければなりません。

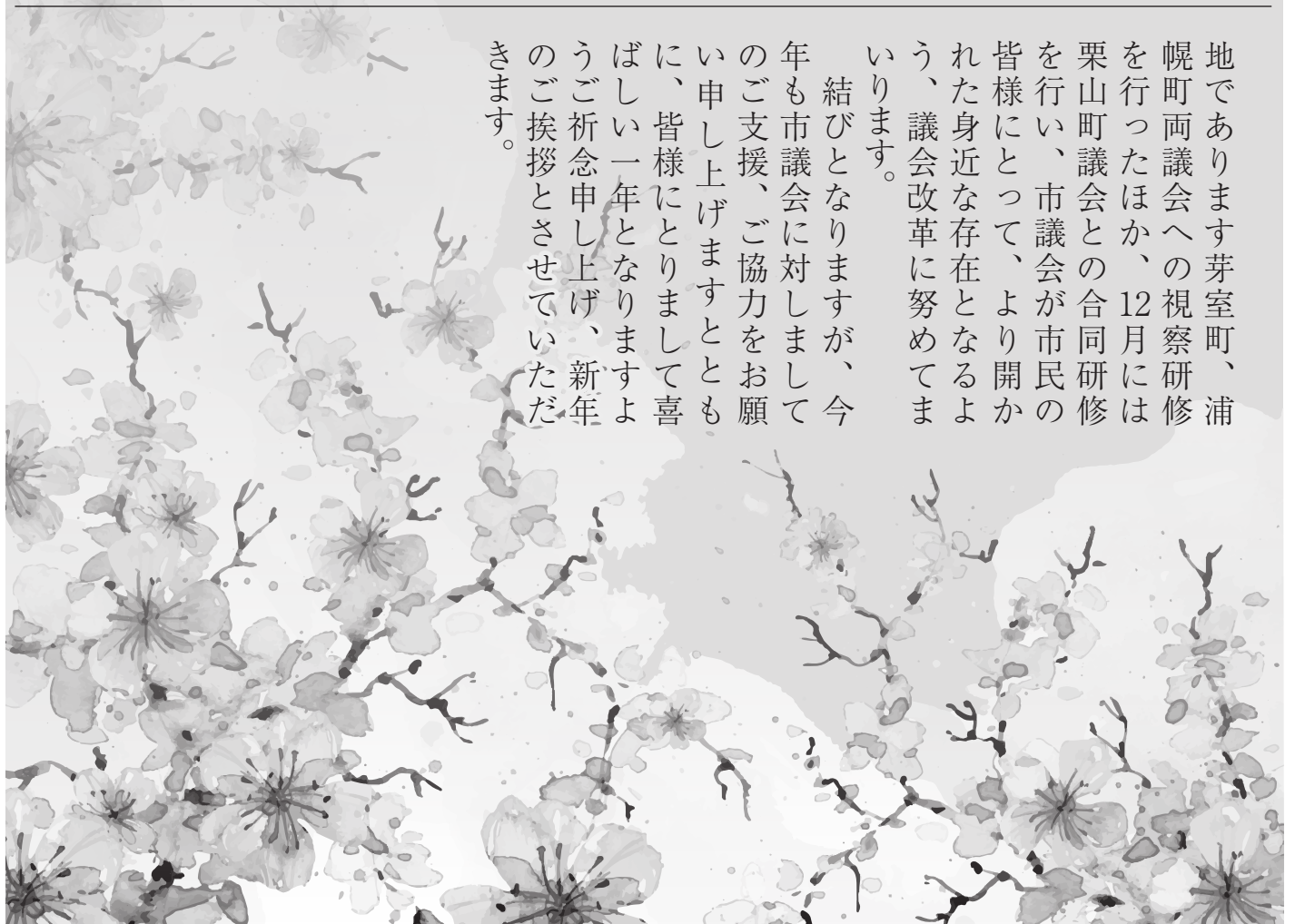
更に今後、清水沢地区
に開設予定の認定こども
園、若菜地区への市立診
療所移転改築の計画も進
められております。

今後、協議が必要なも
のとして、地震によるト
イレ損傷で利用者によるト
をかけている紅葉山地
区の道の駅の課題をはじ
め、市本庁舎の老朽化の
課題、夕張市の児童、生
徒数の減少によるこれか
らの子ども子育て、教育
の充実のあり方、基幹作
物である夕張メロンの生
産現場の課題等、市議会
といたしましても優先順
位を見極め、これら多く
の諸課題の解決に向けて
ひとつひとつ議論を進め
ていかなければならない
と考えます。

昨年、議会改革の先進

地であります芽室町、浦
幌町両議会への視察研修
を行ったほか、12月には
栗山町議会との合同研修
を行い、市議会が市民の
皆様にとって、より開か
れた身近な存在となるよ
う、議会改革に努めてま
いります。

結びとなりますが、今
年も市議会に対しまして
のご支援、ご協力をお願
い申し上げますととも
に、皆様にとりまして喜
ばしい一年となりますよ
うご祈念申し上げます、新
年のご挨拶とさせていただきます。



令和元年第4回定例市議会

第4回定例市議会は、12月3日から12日までの10日間を会期として開催されました。議案22件・意見書案2件の審議を行い、すべて原案のとおり可決し、また諮問1件について可と決定したほか、4件の報告がなされました。

今議会では、教育委員会教育長今勉氏の任期満了に伴い、教育委員会教育長小林広昭氏の任命同意や、夕張市特別職給与条例の一部改正等の議案を可決いたしました。

意見書

◎授業料減免制度の現行水準を維持することを求める意見書（提出議員 熊

谷・君島・本田・千葉）
◎英語民間試験延期にとどまらず入試改革の抜本的な見直しを求める意見書（提出議員 熊谷・君島・本田・千葉）

一般質問

熊谷桂子議員質問



ジェンダーギャップと男女共同参画について

問 本市におけるジェンダーギャップ（男女格差）について、市長の見解を伺う。

答 市職員に限っては、採用・昇任に男女の格差は設けていない。また、あつてはならないことだと思う。

問 市長の見解では、格差は

設けていないとのことであつたが、理事・課長職においては、男性のみで13名、女性はゼロ。主幹職は男性17人、女性は2人のみ。管理職全体では、32人のうち、女性はたったの2人でわずか6.3%に過ぎないが、この数字についてはどのようなお考えか。

答 現在、限られた職員数で行政運営をせざるを得ない状況下での結果であり、男女の格差ではないことにご理解をいただきたい。

問 だれもがジェンダーバイアス（性による偏見）を持つているといわれる中で、本市におけるジェンダーバイアスや、ジェンダーギャップが解消されることよつて、行政のメリットとしてどのようなことがあると考えられるか市長の見解を伺う。
答 職員個々人の考え方を推し量るのは困難だが、男女での固定観念があると

は感じていない。男女ともに、実務研修や管理マネジメントなどの研修の受講をすすめて、そのことで職場の活性化、市民サービスの向上、ジェンダーバイアスの解消に向けて、微力ながら努めていけると考えている。

問 本市のジェンダーギャップ解消に向けた施策の現状は。
答 一例としてH28年、財政再生計画の抜本見直しで、資格取得支援事業や子供の一時預かり、保育料2子目以降の無料化など、子育て中でも必要な資格を取得し、子供を預けながら働く環境づくりを行つてきた。

問 策定に向け検討中となつていた、「男女共同参画に関する計画」について、現在、本市の策定状況は。
答 女性活躍推進法については、H28年3月に策定している。HPにも掲載している。推進計画については今後策定の予定。

問 女性の市職員の管理職登用について、考えは。

答 H31年4月1日現在、管理的地位の職員数24人中2名で8・3%。指導能力、管理能力の研修受講を通して10%以上にする計画。

問 現在の管理職への登用について、選考の基準や方法は。

答 経歴年数や業務の熟度、管理マネジメント、指導能力、管理能力を客観的に判断している。

意見

現在市職員の40代・50代職員男性43名の内、管理職は32名で74・4%。40代・50代職員女性16名のうち、2名が管理職で、割合は12%に過ぎない。これは男女の総数別にみた管理職の比率だが、様々な要因があるにしろ、あまりにも男女共同参画からはかけ離れていると考える。男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享

受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を作るために、まずは夕張市役所の男女共同参画に向けて、市長の大きなご尽力を期待する。

今川和哉議員質問



第5世代移動通信システム「5G」の導入に対する市の対応について

問 今後導入が進む5Gへの対応として、市はどのように考えているか。

答 過疎で広域な本市における行政、医療、産業等様々な分野において、今後の通信技術の発達に大いに期待するところ。引き続き国や北海道及び事業者からの情報収集・把握に努める。

問 通信事業者への働きかけや総務省との協議において5Gの早期活用に向けた活動は考えられないか。

答 今後においても実証実験が行われるかどうかは情報が得られていないこと、またこれまで各自治体向けに実証試験の実施希望の照会がなされたことがなかったこと、5G導入が真に必要な地域課題の整理及び試験導入にあたっての受け入れ態勢の整備が本市においてなされていないことなどから、行うことは考えていない。

問 受け入れ機関に対して市が主導的立場で情報提供や導入提案の推進を行っているのではないか。

答 今後の第二期総合戦略の策定の中で、そういった技術の活用という視点が盛り込めるかどうか、総合戦略の中で検討したい。

問 夕張市におけるIT技術革新への対応について

答 夕張市における行政サービスを今後も持続可能なものとするために、省力化、省コスト化の検討が必須のものであると考えている。そのうえで財政再生団体である本市としては、新しい技術を導入する際には、他自治体の実績、効果などを充分検証したうえで本市の実情に沿うものか検討しながら判断していく。

問 他の自治体ではどのようなことを行っているか、また本市ではどのような技術が利用できそうか、こういった調査や情報収集を行う体制はできているのか。

答 各担当課において出席する会議あるいは市長として出席する会議のなかでも情報交換の機会があり、実際AI化の方向について話を伺うこともある。そういったことを持ちかえって、例えば庁

議の中で全体化するような形で現在は対応している。

本田靖人議員質問



防犯灯の
検討状況について

問 防犯灯に関する町内会の思いを聞く場を設けたのか。

答 防犯灯に特化して町内会の皆様からご意見をお聞きする場は今のところ設けていないが、私が就任してから様々な機会です、市民の皆様からご意見を伺っているが、今のところ防犯灯に関するご相談はない状況である。
問 行政として対応できる部分についての検討はしたのか。

答 地域の相談に対し、具体的な状況を確認しながら道路照明の設置基準により対応していく。

問 LED化が有効であるかの検討はしたのか。

答 LED化による電気料金の節減効果があることは聞いている。今後、町内会から相談があった折には、技術的な助言を行っていききたい。

問 市民の皆さんからご意見を聞いている様々な機会とは？

答 各町内会、各団体から参加の案内をもらったイベントの場において様々なご意見をお聞きする体制をとっている。そのことを指している。

問 前市長時には、「ふれあいトーク」等の公式の意見を聞く場があったが、改選後はこうした場がないと認識している。これまでの現状と今後の予定について聞く。

答 (9月議会の熊谷議員の質問に対し) 今年中に開

催すると申し上げたところだが、年内に開催できない日程は組めない状況である。年明けには、総合戦略に関する検討を進めていく中で、初めてのそういった機会を作れることになると思う。総合戦略策定に関するご意見を聞くということは、市政全般についてのご意見を聞く場になると思う。あるいはそうなるようにこちらで組み立てる配慮も必要だと考えている。

問 防犯灯に関する相談がないことで、町内会は困っていないと判断しているのではないか。

答 相談がないからと言って、課題や問題がないという受け止め方はしていない。

問 町内会の担当者の方に集まってもらい、意見要望を聞く場を設ける必要があると考えるが、市長の見解は。

答 現在、令和2年度の予算編成作業にあたって

る。まずは、予算編成の中で飲み込めるかどうかという状況、あるいは、その必要性というものをこちらで判断させていた大きなから、そのような決断に至った場合については、そのような場を設けることも検討していきたい。

問 予算編成の過程で、財源的に余裕があるなら意見を聞く場を設けたいという手順なのか。

答 予算編成を進める中で厳しい側面もあるが、防犯灯の町内会の対応の必要性を改めて検討させてもらい、(何らかの補助を)実施すべきかどうかについて判断したい。今の段階では、私の方から実施するとは申し上げられない。

問 順番の問題なのかもしれないが、何らかの手立てが打てるかどうかは別にして、まず、町内会の皆様からご意見を聞く場を早急に設けてほしいと考

答 時期については、今言えるがいかがか。
 及できないが、町内会の担当者にお集まりいただき、状況をお伺いする場をお作りする準備をした

千葉 勝議員質問



会計年度任用
職員制度について

問 会計年度任用職員制度導入に係る基本方針について

答 各職場に配置されている嘱託職員、臨時職員の次年度における必要性等の聞き取り調査を行い、国の指針に基づき制度へ反映させた。

問 嘱託職員（41名）と臨時職員（102名）の新制

度下での任用形態について

答 フルタイム会計年度任用職員とパートタイム会計年度任用職員（一週間にわたる勤務時間が38時間45分以下）として任用する。

問 会計年度任用職員の採用の考え方について

答 新地方公務員法で「競争試験または選考によるものとする」と設けられているが、夕張市としては法の主旨に則り、今後実情に応じた対応を図っていききたい。

問 給料・報酬・手当・休暇制度等の処遇について

答 給料・報酬の基準は常勤職員の給料表1、2級を適用、号俸は任用する職（業務内容や資格）に基づき決定する。手当は時間外勤務手当、休日勤務手当、通勤手当などの他所定の条件を満たした場合には期末手当と退職手当を支給する。休暇は国の非常勤職員制度に準じ

て制度化する。年収ベースで比較しても減になることはないが、現在雇用されている嘱託職員が会計年度任用職員として任用された場合の初任給が現行支給額を下回る場合は、現給保障する。（ただし3年間に限る）

問 処遇改善分の財源措置についての考えについて

答 夕張市においてはすべて一般財源で措置する。

問 地方財政計画に必要な財源を盛り込むよう、市長会を通じて国に要請するべきとの考えについて

答 市長会でも地方財政計画に必要な財源を盛り込むようこの間要望活動を行ってまいりました。

◆ 2017年4月地方公務員法、地方自治法の一部が改正され、2020年4月より現在の嘱託職員・臨時職員の大半が会計年度任用職員へ移行される。これは、非常勤職員の範囲を厳格にし、任用根拠が明確になり、手

当が支給可能になりました。

市民との意見交換会

（令和元年一〇月八日）

◎はまなす会館・末広恵集会所（出席議員・小林尚文議長・熊谷桂子議員・本田靖人議員・君島孝夫議員）

一 公共交通について

① 敬老バスを持っている市民向けに何らかの企画を実施し、乗車率を上げる努力が必要ではないか

↓（生活福祉課 七〇歳以上敬老バス発行 夕鉄バス会社の企画ですが市民団体でイベントを考える企画はどうか？）

② 融通の利く時間帯でイオン等の民間企業に買い物バス等を行政として依頼してはどうか

↓（極力夕張市内のお店を活用して頂きたい）

二 石炭博物館模擬坑道について

① 6尺層や進発の像を見られるようにフェンス等の

配慮をお願いしたい。草刈や枝払いはボランティアでもできる

↓(教育課・土木課)令和二年一月より模擬坑道水抜きを現状フェンスのままで開始、水抜き後の状況を踏まえて前向きに対応するとの事)

三 拠点複合施設について

①ソフト事業について、議会として係わっていないのか(案はないのか)検討委員会任せにせず、議員もフィードバックに加わる仕組みを作るべき

↓(市議会としては常に報告を受ける立場にあるので係わっていく)

②公民館活動が何もやれていないのは問題だ、文化振興は重要であり、市民の学ぶ権利を奪うな

四 その他

①道の駅のトイレ問題をはじめ、市内の公衆トイレ配置運営に課題がある

交流人口増加を目指すのであればきちんと整備を進めるべき

↓(拠点複合施設を含め交通結節点の必要なトイレは開けているが鹿の谷は人手不足で閉めている)↓ネーミングライツで半年間は使用可)

②視察後には議会だよりで報告がほしい(議会だよりは文字が多く読みづらい)

↓(視察後は議会便りで報告している。議会運営委員会でも検討し、読みやすい議会便りを作成する)

③ゴミ処理場がいつぱいになる日が近いのではないかと心配

↓(令和一五年頃までは大丈夫との事、定期的に残量チェックしている)

◎南清水沢生活館・紅葉山新生クラブ(出席議員・高間澄子副議長・大山修二議員・千葉 勝議員・今川和哉議員)

一 交通問題

①土日、バスダイヤ↓待つ時間が長い

↓(夕鉄バスでダイヤ改正時に検討材料とする)

②急行バス、市内でも急行料金が取られる

↓(市民福祉課)↓敬老パスの使用はできないが、一日一本新夕張六・五三南

清水沢七・十五の急行は敬老パスで市内をご利用できます)

③運転手の養成から考える必要がある

↓(市の補助金事業を活用してはどうか 大型二種補助金上限一〇万円)

④博愛舎(紅葉山の国道の裏通り)にある住宅街を通るバス(バス停)があれば便利

↓(以前にも検討された事があったようですが、道幅が狭く運行が難しい)

二 環境問題

①紅葉山新生クラブ前通

↓セイコマ信号間の歩道の草で歩き難い

↓(市土木課で確認)↓草刈



住民と夕張市議会の意見交換会

実施していますが気が付いたら連絡下さい)

②紅葉山高台の川側の雨水・側溝の蓋

↓(住宅道路と畑の側溝の蓋は土砂が下水に溜ってしまうので蓋をしない)

③清水沢道管アパート側溝に蓋がない(危険)

↓(建設課)以前は道の判断でネットが在ったが生活に必要な箇所には蓋は設置してある、町内会でまとめて担当課に相談して欲しい)

三 その他

① 議員の給料が低い、なるうと思わない。定員割れの恐れ、議員の魅力向上
↓ (今後市議会として報酬も含めて検討する)

② ハザードマップや避難の指示等

↓ (数年前各家庭に配布された、消防本部に行けばいただけます)

行政常任委員会 市外視察についてのご報告

昨年10月、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革調査ランキングにて2年連続全国1位となった十勝管内芽室町議会、そして同じく上位にランキングされた浦幌町議会を訪問し、議会改革に向けた取り組み、議員のなり手不足の解消、地域住民との意見交換の方法など斬新な取り組みについて講義いただきました。意見交換を行ってまいりました。今後はこれらの情報を参考に夕張市議会といたしまして

も市民の皆様によりわかりやすい開かれた議会を目指し、引き続き議会改革に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



視察先の浦幌町議会にて

編集後記

昨年4月の夕張市議会議員の改選から、まもなく1年が経とうとしています。

今任期からは、夕張市議会議員の定数は従前の9名から1名を減らした8名となり、全国の市の中では歌志内市と同数の最も少ない議員数での議会運営となりました。

夕張市の人口は減少を続けていますが、それでも市の事業は多岐に渡り、行政常任委員会では、議長を除く7名で様々な事業の審査を行っております。

少人数での議会運営ではありますが、これからの夕張市をより良くしていくために、これまで以上に、議員全員ひとりひとりが広聴と資質向上に努め、また市民の幅広い意見を市政に反映するために働いていかなければならないと考えております。

また市民の意見収集に努

めるとともに、議員が丸となつて議会の活動を伝え、二元代表制の一翼を担う議会の重要さを自覚しつつ、地方議会では避けられない議員のなり手不足の問題にも今後ますます取り組んでいかなければなりません。

「興味はあるけれども日中仕事をしていて議会が傍聴できない」という方のために、夕張市議会では年に1度、6月に夜間議会を開催しております。また、様々な世代を対象に住民懇談会の開催もしております。

私たちが暮らしている地域で議員がどのような活動を行っているのか、是非関心を持って見ていただければと思います。

